

そろそろ改修しませんか？



立体駐車場改修の大定番！

常温亜鉛めっきローバル®

短工期

長寿命

信頼性

●保証はローバル工法認定施工管理者制度にて対応





立体駐車場改修に選ばれる 常温亜鉛めっきローバル

立体駐車場改修には「短工期、長寿命、信頼性」が求められます。常温亜鉛めっきローバルならば全てを叶えることが出来るので、マンションの管理組合様、ビル管理会社様などに選ばれ続けています。

その理由とは — 速乾性のため短工期でありながら亜鉛めっき同等のさび止め性能を有し、車路においてもはく離クレームがなく高い信頼性を評価されているからです。

短工期

速乾性で翌日入庫が可能

ローバルは乾燥が早いので赤さび部の先行補修も含め1日に3回塗り(塗装間隔:30~60分)が可能で、塗装終了の翌日より入庫が可能です。一般塗料だと塗装に3~4日必要で更に入庫までの養生期間が48~72時間必要なため着工から入庫まで5~7日以上となります。

※環境、塗料種などにより入庫までの日数は増減の可能性あります。

赤さび部分の先行補修

赤さびを再発させない為に、改修の際には**赤さび部分を先行補修(亜鉛補給)**し、さびた箇所に余計に塗ることで、より効果的に防錆効果が発揮できます。



赤さび部に、電動工具を用いて完全に除去。



すみやかに補修箇所をローバルで塗装。

	ローバル	一般塗装 A	一般塗装 B
1日目	赤さび先行補修 素地調整	素地調整	素地調整
	1回目塗装 30分養生 ^{*1}	下塗り 養生 ^{*2}	下塗り 養生 ^{*2}
	2回目塗装 養生 ^{*1}		
2日目	入庫可能	中塗り 養生 ^{*2}	中塗り 養生 ^{*2}
3日目			
4日目		上塗り 養生 ^{*2}	上塗り
5日目		入庫可能	養生 ^{*2}
7日目			入庫可能

*1 ローバルの養生時間は季節・環境・温度等により異なります。
*2 一般塗装の養生時間は製品により異なります。

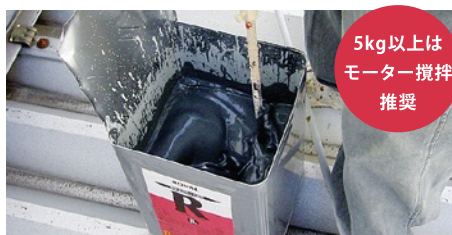
ローバルの性能を発揮していただく3つのポイント

Point 1 素地の調整



動力工具を使用して、水分、油分、黒皮、さび、旧塗膜を除去し、**清浄な金属面を露出**させます。

Point 2 十分な攪拌



5kg以上は
モーター攪拌
推奨

全体が均一になるよう十分に攪拌します。シンナーによる希釈の必要はありません。

※粘度が上がった場合は専用シンナーを使用(重量の5%以内)

Point 3 膜厚の確保



乾燥膜厚80 μ m以上、塗り延ばさずたっぷりと塗ります。さび止め能力は膜厚に比例します。

ローバル

塗るだけで亜鉛めっきと同等の強力な、さび止め効果を発揮。

ローバルシルバー

亜鉛めっき面の補修、ローバルの上塗りに最適。

3種規制非該当の環境・安全配慮タイプ

ローバル エコタイプ

防錆性能を誇るローバルの効果そのままに。

ローバルシルバー エコタイプ

落ち着いた色のあるシルバー色で、上塗りに最適。

※3種規制とは「有機溶剤中毒予防規則」、「特定化学物質障害予防規則」、「PRTR法」。



◎上記の各製品には、一斗缶、はけ缶、エアゾールのラインナップがあります。

長寿命

亜鉛含有率96%で長期間の防錆性能を持続

ローバルは雨水などにより酸化することでパレット、柱・梁などを長期間腐食から守ります。環境遮断性も向上し硬くなる特性も備えています。最も厳しい環境といわれるパレットにおいても、経験的に10年以上の長期に渡り安定な塗膜を維持し続けます。

推奨塗装仕様

ローバルシルバーを上塗りすることで、環境遮断効果の向上とともに、亜鉛顔料による色変化を抑えることができます。

赤さび
先行補修
(40 μ m)

ローバル
塗装
(40 μ m)

ローバル
シルバー
塗装
(40 μ m)

色変化はさび止め効果の証。

時間経過とともに色変化していく特性があります。色ムラのような現象が発生しますが、塗膜中の亜鉛が酸化することで鉄を守っている証です。最終的にはめっきと同様の色調に落ち着きます。

■ローバルの色変化

塗装直後	3ヶ月後	6ヶ月後	12ヶ月後

※環境により色変化は異なります。

信頼性

20年以上はく離クレームなし ●保証制度有り

一般塗料では塗膜がキズつくと、塗膜の下でさびが発生し雨水や融雪剤などの影響によりどんどんはく離が広がってしまいます。一方、ローバル塗膜はキズついても塗膜の下にさびが広がらないのではく離しません。溶融亜鉛めっきの最高グレードであるHDZ55と同等の防錆効果が認められた常温亜鉛めっきローバルだからこそキズついてもさびは広がらずはく離クレームが起こらないのです。

ローバル工法

保証が必要な改修に、是非ローバル工法をご検討ください。

※詳細はHP(<https://www.roval.co.jp/ram>)をご確認ください。

■ローバル工法の工程



プラスト処理



塗装



膜厚測定



施工例(耐震補強工事)

ローバルの卓越したさび止め能力が認められ、各種認定を取得。

国土交通大臣認定

ローバルの防錆性能は「国土交通大臣認定」を取得しています。
国土交通大臣 特別評価方法 認定書
(国住生第322号、平成16年3月31日)
認定番号：472



建設技術審査証明

ローバル工法による防食性能は、「建設技術審査証明」を取得しています。

<正式名称>
特殊亜鉛塗料による鋼材防食技術「Cold Galvanizing
ローバル工法」(BCJ-審査証明-104)
特殊水性亜鉛塗料による鋼材防食技術「Cold
Galvanizing 水性ローバル工法」(BCJ-審査証明-204)



※詳しくは弊社ホームページをご確認ください。

改修塗装のご提案

立体駐車場に使用されている亜鉛めっき部材には、めっき厚の薄いものもあり、構造や形状から数年程度でさびが発生してしまうことがあります。さびを落とした後、すみやかにローバル塗装することで、再めっきと同等の効果があるため、短工期で長期メンテナンスフリーを実現でき、立体駐車場をさびから守ります。



改修塗装施工の流れ

1 水洗洗浄

立体駐車場のパレットには、泥や油分、融雪剤などが付着している場合があります。ケレン前に水洗洗浄して、除去しましょう。水分も拭き取ってください。



2 素地調整(ケレン)

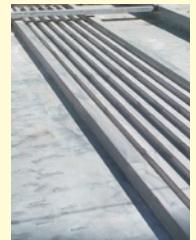
赤さび先行補修

赤さび部は、電動工具を用いて完全に除去し、すみやかにローバルを塗布してください。



赤さび補修箇所以外

手工具やサンドペーパー(#180~)などで、白さびや不純物を除去し、清浄な亜鉛めっき面を露出してください。



3 不純物除去

ケレンで発生した粉じんや砂、油分などは塗膜はく離の原因になるのでしっかり除去してください。



4 ローバル塗装 ※素地調整～塗装は1日で完了。

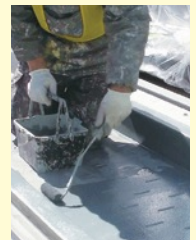
十分な攪拌

全体が均一になるよう十分に攪拌します。シンナーによる希釈の必要はありません。



膜厚の確保

乾燥膜厚 80μm 以上。塗り延ばさずたっぷり塗ります。さび止め能力は膜厚に比例します。



5kg以上は
モーター攪拌
推奨

5 乾燥

室温程度(23℃)であれば、ローバルは30分で乾燥します。30分後、2回目のローバルを塗装してください。その他温度時の乾燥については、表を参考にしてください。

環境温度	5℃	10℃	20℃	30℃	40℃
塗装間隔	60分	40分	30分	10分	5分

6 施工完了

施工した次の日には、自動車の入庫が可能です。施工時についた傷などは適宜、ローバルで補修してください。



※詳しくは、立体駐車場用施工仕様書をご請求ください。



ユーザー様の声 ▶ 二宮産業株式会社 参事 阿部様

- ローバルが一番工期が短くなる。
- 今はローバル一本で、やらせていただいております。
- 素地調整をきちんとすると、サビは現れない。
- ローバルそのものが生きていような状態。
- これからもやっぱりローバルを重要視していかなければならない。

SINCE 1955 **ローバル株式会社**
TEL 573-0132 大阪府枚方市野村元町 1-1

ローバル公式: <https://www.roval.co.jp>
立駐機改修.com: <http://www.p-kaishutosou.com>

お問い合わせ <技術サービス部宛>

受付時間 / 9:00 ~ 17:00 / 月 ~ 金
(弊社規定の休日除く)

TEL: 072-894-7590

FAX: 072-894-7593

メール: gisa@roval.co.jp